

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	夜叉ヶ池における水質とプランクトン相の季節変動について
発表学会名	第25回 全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部「支部研究会」
発表者名	片谷千恵子（環境部）
開催場所	名古屋国際センター3階
発表日時	平成23年1月21日（金）
発表内容	<p>夜叉ヶ池は、環境省の調査で酸性雨による影響が生じている可能性があると考えられた湖沼の一つであり、現在、環境省の委託を受けてモニタリング調査を行っている。福井県では、平成6年度から環境省の委託を受けて年4回のモニタリング調査を行っているが、年間を通じた水質の変動をより正確に把握するため、平成9年度および20年度に詳細調査を実施している。平成22年度は、従来から実施している水質調査に加え、プランクトン相の詳細調査も併せて行った。</p> <p>その結果、pHは、5.22～5.71、平均5.43であり、雪解け時に最も低く、秋季に上昇する傾向は、平成9年度および20年度の詳細調査と同様であった。また、アルカリ度の年間平均は0.015meq/Lであり、pHと同様な変動を示した。</p> <p>植物プランクトンの主な優占種は、春季にクリプト藻類の <i>Cryptomonas sp.</i>、秋季に、クリプト藻類および渦鞭毛藻類の <i>Ceratium irundinella</i> であり、夏季には、緑藻類の <i>Sphaerocystis sp.</i>がわずかに出現した。</p>